

小さな訪問者

2016年11月15日

我が家の庭はクワイの落葉が一段とひどくなった。葉が大きいため落ちたとき「カサッ」音がする。掃除が大変、デレッキで一枚一枚、日に三回、朝、昼、夕に集めている。

当然、外にいる時間が長くなる、おかげでカマキリを温室の前で見つけた。オオカマキリのメスのよう、出会いは久しぶりだ。ヤッター！

以前の出会いは2012年10月14日にメス、20日にオス。2013年9月30日は交尾が撮れている。

今回、繁殖期にしては出会いが少し遅い、すでに産卵は終わったあとだろう、自宅周辺に卵があることを願う。

① 褐色型で体長は9㎝ほどあった。② 鉢に移して撮影する。見栄えしないので次は、③ イヌツゲに乗せて写す。隣にドウダンツツジが紅葉している。④ ⑤ 思った以上に真っ赤の中で、しきりに口を動かし水を吸っていた。よく見ると口の先にある数ミリのヒゲで水分をなぞっている。

今日のメスは少しおとなしい、早く解放した方がよさそうだ。カマキリのオスは交尾のあと、メスは産卵が終わると冬越ししないで命つきるといふ。

2012年、⑥ メスのお腹はパンパンだった。オスは元気に動き回ってくれた。おかげで、⑦ キバラヘリカメムシを狙うシーンが撮れた。翌年は、⑧ 交尾シーンが撮れている。

今回はもたもたしてられない。⑨ 高い位置に放し、下から産卵管を写す。このあと解放する。ご苦労さん！

赤番号は写真にリンク、写真は本文にリンクしています。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨